

学校だより NO. 459
令和4年9月30日



品濃

〈横浜の教育がめざす人づくり〉

自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人

〈学校教育目標〉

大好き自分 大好きみんな ともに創る品濃の子

- ・知 生きて働く知
- ・徳 豊かな心
- ・体 健やかな体
- ・公 公共心と社会参画
- ・開 未来を拓く志

横浜市立品濃小学校 電話 824-0651 FAX 826-2183

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinano/>

稲刈りをしました

副校長 高橋 佐紀子

日差しがたっぷりと降り注ぐ9月のある日のことです。5年生の児童が稲刈りをしていました。

鎌の使い方や、稲の束の縛り方についての説明を聞いてから、子どもたちが刈り始めました。

穂の束の根本付近をぎゅっと掴んで、鎌を斜めに入れます。鎌に力を入れます。

近くで見ていた友だちがアドバイスしました。

「束をぎゅっとしっかり掴んで、鎌を水平にして切ったほうがいいよ。」

稲はよく乾いていましたが、初めて鎌を持ち、鎌で切る体験をする

子どもたちがほとんどでしたので、鎌での刈り取りや、刈り取った後に

ひもで縛って稲の束を作ることは困難さが伴うのではないかと予想しました。

しかし、予想は外れ、先ほどのアドバイスのように、比較的スムーズに

刈り取り、ぎゅっとひもで縛って束を作っていました。私は、スムーズにできたのはなぜだろうかと考えました。鎌を使った体験からの気づきと、「鎌を使って刈り取りたい。」という目的と期待があったことに気づきました。

「何を見たり、何を聞いたりするのか。」同じものを見たり、聞いたりしていても、見方や聞き方は、人それぞれでまるで違うものになります。「みんな違って、みんないい。」なのです。

一方、「どう見たり、どう聞いたりするのか。」それは、子どもたちが「何ができるようになりたいか。」という目的をもつことによって、子どもたちの見方や聞き方が定まってくるように感じます。そして、そこに「学び」があることに改めて気づきます。

5年生は「整理・整とんで快適に」の学習をしています。先日、家庭科担当教師が児童の様子を伝えました。

「先生、〇〇さんにパソコンルームの鍵を貸していただきありがとうございました。おかげで〇〇さんはスリッパがばらばらになっているのを見つけてそれを整理することができましたよ。」

私は、職員室での児童の様子を伝えました。

「〇〇さんは、多目的ルームを調べたかったけれど、鍵がなかったのです。そこでどうしようと鍵の束を見つめて考えていました。パソコンルームはどうかと思いついて借りていきましたよ。」

「整理・整とんする」目的をもち、自ら教室を選び、学習で得た知識を使って実践しました。

間もなく前期が終了します。後期も引き続き、子どもたちが得た知識や培った思考力、判断力、表現力を発揮できるよう支援していきます。保護者、地域の皆様、ご支援ご協力よろしく申し上げます。

